

第11回 信州登山案内人試験【共通問題】

各設問の解答を、解答用紙に記入すること。

(信州登山案内人条例、長野県登山安全条例)

問1 信州登山案内人に関する記述のうち、正しいものを2つ選んで記号を記入しなさい。

(ア) 信州登山案内人になるには、知事の許可を受けなければならない

(イ) 未成年は信州登山案内人になることができない。

(ウ) 信州登山案内人はできるだけ安価な料金でサービスを提供できるよう努めなければならない。

(エ) 信州登山案内人はその業務に関する知識及び技能の水準の維持向上に努めなければならない。

問2 信州登山案内人に関する県の責務を2つ選び、記号を記入しなさい。

(ア) 信州登山案内人の周知に努めること。

(イ) 信州登山案内人にガイドの依頼を取り次ぐこと。

(ウ) 信州登山案内人の活用の機会を確保すること。

(エ) ガイド料金を定めること。

問3 信州登山案内人条例及び長野県登山安全条例に関する次の記述について、正しいものを選び、記号を記入しなさい。

1. 信州登山案内人は、登山者に対して山岳の（ (ウ) 魅力 ）を伝えるとともに、登山者の安全確保に努めなければならない。

(ア) 偉大さ (イ) 脅威 (ウ) 魅力 (エ) 危険

2. 信州登山案内人は、（ (ウ) 自然環境 ）の保全に関する法令の規定に違反する行為をしてはならない。

(ア) 野生生物 (イ) 山岳環境 (ウ) 自然環境 (エ) 登山道

問4 長野県登山安全条例第2条第1号に規定する「登山者」の定義から除外されている者を2つ選び、記号を記入しなさい。

(ア) 山小屋、避難小屋又は売店等の設置又は運営の業務に従事する者

(イ) 公的な資格に基づく登山案内の業務に従事する者

(ウ) 山岳遭難の未然防止に関する業務に従事する者

(エ) 山岳で山菜やきのこ採りをする者

問5 長野県登山安全条例において「ツアー登山を実施する旅行業者の役割」とされているものを2つ選び、記号を記入しなさい。

(ア) 登山に関する十分な知識、技術及び経験を有する登山ガイドを同行させること。

(イ) ツアー登山に参加する登山者の安全確保に努めること。

(ウ) ツアー登山に参加する登山者の人数を10人以下とすること。

(エ) 山岳環境保全のための負担金を支払うこと。

(自然公園)

問6 次の文中①～⑥にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

1. 長野県にある国立公園は、妙高戸隠連山、秩父多摩甲斐、上信越高原、南アルプス、
① (ウ) 中部山岳 の5ヶ所である。
(ア) 天竜奥三河 (イ) 中央アルプス (ウ) 中部山岳 (エ) 八ヶ岳中信高原
2. 自然公園法で定める自然公園には、国立公園、国定公園、都道府県立自然公園があるが、長野県内の国定公園は ② (ア) 4ヶ所 である。
(ア) 4ヶ所 (イ) 5ヶ所 (ウ) 6ヶ所 (エ) 7ヶ所
3. 狩猟が認められないなどの規制がある、環境大臣が指定する国指定鳥獣保護区は、県内に北アルプス鳥獣保護区と ③ (イ) 浅間 鳥獣保護区がある。
(ア) 志賀高原 (イ) 浅間 (ウ) 八ヶ岳 (エ) 南アルプス
4. 国立公園及び国定公園の特別保護地区内において、木竹の伐採や動物の捕獲等をするためには、国立公園では ④ (ア) 環境大臣 の、国定公園では ⑤ (ウ) 都道府県知事 の許可が必要である。
(ア) 環境大臣 (イ) 自然保護官 (ウ) 都道府県知事 (エ) 市町村長
5. 秩父多摩甲斐国立公園は、長野県、東京都、埼玉県、山梨県の1都3県にまたがる面積126,259ヘクタールの公園であるが、区域に含まれる長野県内の市町村は ⑥ (ア) 1 市町村である。
(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3 (エ) 4
6. 長野県自然保護レンジャーは、自然公園などの ⑦ (イ) 自然保護や適正な利用 を進め、
⑧ (ウ) 自然環境の保全 に関する意識の高揚を図るために活動している。
(ア) 森林の伐採 (イ) 自然保護や適正な利用 (ウ) 自然環境の保全 (エ) 野生鳥獣の捕獲
7. 長野県版レッドリスト(2015年)において、絶滅危惧IB類に分類されているライチョウの生息状況を把握し、保護対策のための基礎データとするため、スマートフォンを用いて登山者等からの目撃情報を収集するアプリ ⑨ (エ) ライポス を開発し、目撃情報の投稿をお願いしている。
(ア) アルクマ (イ) ライチョウ (ウ) ライオン (エ) ライポス
8. 「重要な地形・地質とそれに付随する文化」を対象とする日本ジオパークと、「生態系の保全と持続可能な利活用の調和」を目的にしているユネスコエコパークの両方に登録されているのは、
⑩ (エ) 南アルプス である。
(ア) 苗場山麓 (イ) 志賀高原 (ウ) 北アルプス (エ) 南アルプス

(読図)

問7 次の地図記号は、それぞれ何を表しているかを記入しなさい。

① 三角点

② 記念碑

③ 笹地



問8 次の文中①～④にあてはまる用語を記入しなさい。

1. 地図は通常、北を上にしてつくられている。この方向は **①北極点** の方向である。地図上の北は、特に **②真北** という。②に対して、コンパスの磁針の指す北を、 **③磁北** という。②と③のずれのことを **④磁針偏差または磁気偏角** という。日本では **⑤西** の方角に偏っている。
2. 川や沢の呼び方で、上流を背にして下流側を見て、右の岸を **⑥右岸** と呼び、下流から上流に向かって登っているときは、進行方向右手の岸が **⑦左岸** になる。間違えると右と左が反対になるので、気を付けるようにしたい。

(植物、植生)

問9 次の文中①～④にあてはまる用語を記入しなさい。

1. 山に登り標高が高くなると徐々に気温が低下し、それに伴って植物の種類や群落が変化する。この高度によって植物の移り変わる様子を **①垂直分布** という。また、植物のまとまりである植生の垂直な分布帯を **②植生帯** といい、植生の相観などをもとに下方から低山帯、山地帯、亜高山帯、高山帯などに分けられる。
2. 長野県の自然植生では、山地帯は、主にブナやミズナラなどの **③落葉広葉樹林または広葉樹林** で、亜高山帯はシラビソやコメツガなどの針葉樹林やダケカンバ林などからなる。
3. 長野県では標高 2,500m 前後に **④森林限界** がある。その上部には低く匍匐するように枝を広げるマツ科の常緑針葉低木である **⑤ハイマツ** の優占する群落が広がり、またその周辺には地形・地質・斜面方位などにより高山植物の多様な群落が分布する。

問10 次の文中①～⑥にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

1. 長野県では県内の希少な野生動植物の保護対策を推進するため、長野県希少野生動植物保護条例で指定希少野生動植物を指定している。高山植物のうち、本州では飛騨山脈と八ヶ岳のみに分布するキンポウゲ科の **① (イ) ツクモグサ** や **② (オ) 木曾山脈** にのみ分布するコマウスユキソウ (ヒメウスユキソウ) は、本条例の特別指定希少野生動植物となっている。
2. 本州では八ヶ岳と飛騨山脈北部の高山帯のみに分布しているオオバコ科の多年草で、千島列島ではハマレンゲと呼ばれている高山植物は、 **③ (ス) ウルップソウ** である。
3. 高山植物の開花時期は、気温や **④ (ア) 雪解け時期** と密接に関係している。そのため、積雪が少なく雪解けの早い風衝地と、反対に雪解けが非常に遅くハクサンコザクラなどの咲く **⑤ (セ) 雪田** では、高山植物の種類や開花時期が大きく異なっている。

<選択肢>

- (ア) 雪解け時期 (イ) ツクモグサ (ウ) 湿地 (エ) 日照
(オ) 木曾山脈 (または中央アルプス) (カ) アオノツガザクラ (キ) トウヤクリンドウ
(ク) マルバダケブキ (ケ) コマクサ (コ) 降水量
(サ) 赤石山脈 (または南アルプス) (シ) 八ヶ岳 (ス) ウルップソウ (セ) 雪田

(動物(鳥類、昆虫類含む))

問 11 次の文中①～⑩にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

(同一の番号には、同じ解答(記号)が入ります。)

1. 中型・大型の哺乳類のうち、長野県で農林業被害をもたらすとして特に問題とされているもの

に、ニホンザル・**① (エ) ツキノワグマ**・イノシシ・**② (オ) ニホンジカ**・**③ (イ) カモシカ**がある。

農林業被害の金額が最も大きいのは**② (オ) ニホンジカ**である。**③ (イ) カモシカ**は

④ (ケ) なわばりをつくって守るため、ある場所での生息数があまり変わらないのに対し、

② (オ) ニホンジカは**⑤ (ク) 群れ**をつくって個体数を増やしながら生息域を広げる性質を持つ。

① (エ) ツキノワグマは、2020年の夏に上高地のキャンプ場でテントを引きずり、これを引き裂いて中にいた宿泊客にけがを負わせた。この個体は人身事故の数週間前から残飯などの人為由来の食物を摂取していた。このような人身事故を防ぐためには、宿泊施設やキャンプ場での生ごみや**⑥ (シ) 食べ物**の徹底管理が必要である。

2. 中部山岳域の高山帯には、氷期に大陸から移入して生き残った動植物が生息する。このうち

⑦ (チ) ライチョウは、冬に羽根が白く、雪解けとともに夏羽に生え変わることで知られる。

⑦ (チ) ライチョウを襲う天敵は、**⑧ (カ) キツネ**、テンなどである。昆虫類では、ハイマツ帯で見られる高山蝶の**⑨ (ナ) タカネヒカゲ**、高山植物の花々を訪れる**⑩ (ニ) マルハナバチ**などが特徴的なものとして知られている。

<選択肢>

- (ア) ヒグマ (イ) カモシカ (ウ) タヌキ (エ) ツキノワグマ (オ) ニホンジカ
(シカ) (カ) キツネ (ホンドギツネ) (キ) ヤマネ (ク) 群れ (ケ) なわばり
(コ) 巣 (サ) 騒音 (シ) 食べ物 (ス) たき火 (セ) ホシガラス
(ソ) ヒバリ (タ) カケス (チ) ライチョウ (ニホンライチョウ)
(ツ) アカカミアリ (テ) オオルリシジミ (ト) オオムラサキ (ナ) タカネヒカゲ
(ニ) マルハナバチ (ヌ) エゾハルゼミ

(気象、天気図)

問 12 次の文中①～⑩にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

梅雨明け後は () 高気圧が本州から朝鮮半島～中国大陸まで広く覆い、山間部でも風が弱まり、登山日和が続く。

夏山で気をつけたいのは雷の発生であり、日射で地面が熱せられると () 気流が発生し、() 雲が発達し、雷や雷雨になる。この雷の種類には、強い日差しが原因で発生する「熱雷」、前線と寒気が原因で発生する「界雷」、日射と寒気が原因で発生する () がある。

<選択肢>

- | | | | | |
|---------|---------|---------|----------|---------|
| (ア) 爆弾 | (イ) 下降 | (ウ) 上昇 | (エ) 積乱 | (オ) 熱界雷 |
| (カ) 移動性 | (キ) 寒冷 | (ク) 台風 | (ケ) 疑似好天 | (コ) 巻積雲 |
| (サ) 高積雲 | (シ) 日本海 | (ス) 太平洋 | (セ) 層積 | (ソ) 高積 |

問 13 次の説明文にあてはまる気象現象等を記入しなさい。

1. 晩秋から初冬にかけての穏やかな暖かい日。

2. 空模様や生物の行動から狭い地域の天気を予想する方法。

3. 冬から春にかけて太平洋側に大雪をもたらす低気圧。

問 14 次の天気記号は、それぞれ何を表しているかを記入しなさい。

- ① 台風 ② 雷 ③ 寒冷前線



(登山の常識)

問 15 令和3年の長野県における山岳遭難の発生状況について、あてはまるものを選択肢から1つ選び、記号を記入しなさい。

1. 転落・滑落・転倒に次いで2番目に発生件数が多い遭難の要因

(ア) 道迷い (イ) 病気 (ウ) 落石 (エ) 疲労凍死傷

2. 遭難者数が最も多い年代

(ア) 40歳代 (イ) 50歳代 (ウ) 60歳代 (エ) 70歳以上

3. 死者に占める単独登山者の割合

(ア) 38.5% (イ) 40.0% (ウ) 48.3% (エ) 55.3%

問 16 次の説明文にあてはまる火山現象等を記入しなさい。

1. 短期の短いものから数日以上続くものがある。マグマや水蒸気が地下で移動、または沸騰して気泡発生などで起こる微弱な振動。 火山性微動
2. 地下のマグマの移動などの火山活動による地震。本震後の余震や前震現象がないのが特徴。1度きりで、突然のように発生する。 火山性地震
3. 噴火が起きる前とその後マグマや水蒸気の圧力に変化が現れ、山体が膨らんだり収縮すること。 地殻変動
4. 溶岩や火山ガス以外の固体噴出物のことで、テフラとも言われる。大きさによって分類され、直径2mm未満は火山灰、2～64mmを火山礫、64mm以上を総じて噴石と呼んでいる。 火砕物

※出典：日本の火山 山と溪谷社

問 17 長野県登山安全条例及び規則に定める登山計画書への記載事項として、あてはまるものを選択肢から3つ選び、記号を記入しなさい。

- (ア) 登山の期間および行程
- (イ) 性別
- (ウ) 生年月日
- (エ) エスケープルート
- (オ) 山岳保険に加入している場合は、当該保険会社の名称および電話番号
- (カ) 山岳団体に所属する場合は、当該団体の名称および電話番号

(セルフレスキュー)

問 18 登山における病気やケガに関連して、次の文中の①～⑩にあてはまる用語を記入しなさい。

1. 低体温症は、寒冷等の影響により体温が低下することで起こり、体の中心（コア）体温が ①35 °C 以下になった状態をいう。コア体温が下がると、寒気や全身の ②震え が始まり、症状が進行すると、意識障害のほか、呼吸や心拍が徐々に遅くなり、ひどい場合には心肺停止に至る。
予防が特に大事で、三大要因である、低温、③風、雨・雪・汗などによる ④濡れ に対し、ウェアの着脱により対応するほか、⑤食べ物またはエネルギー をこまめに補給し、体内の熱源を維持することが重要である。
※炭水化物、糖分なども正解
2. スズメバチやアシナガバチ等に刺されると、一度目はショックを起こさずに体内に抗体ができるが、再度刺されると重症なアレルギー反応である ⑥アナフィラキシーショック を起こすことがある。
※出典：山の病気とケガ 山と溪谷社
3. ⑦ツェルト は、風雪下の休憩時や、不測のビバーク時に大変有用でいつの季節でも必携。全身を覆うようにかぶって使用するほか、テント代わりにもなる。
4. ⑧パルスオキシメーター は、動脈の血液中の酸素のレベルと脈拍を測定する機器。高山病と思われる症状が起こった際に、数値を見ることで呼吸の仕方の工夫に使える。
5. 山のケガで多い打撲やねん挫の予防法として、転びやすい人は歩行時に ⑨ストックまたはトレッキングポール を使って身体のバランスを維持したり、ねん挫しやすい人は事前に足首に ⑩テーピング をして固定しておくが良い。